

ぐんぐん夢プラン



ふり返りアンケート

1 学期号

<発行日>令和6年11月吉日 <発行者>京都市立大將軍小学校長 金子 真也
Tel 075-461-4310 <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/daishougun-s/>

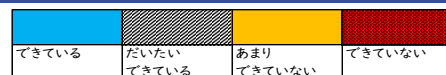
学校教育目標 自他ともに大切にし 未来に向かって努力し続ける子

令和6年度 1学期ぐんぐん夢プランふり返りアンケートから

7月に今年度一回目のふり返りアンケートを保護者の皆様と子どもたちに実施いたしました。昨年度に引き続き、オンラインでのアンケートになりましたが、9割強の回答率でした。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中アンケートの回答にご協力いただきありがとうございました。

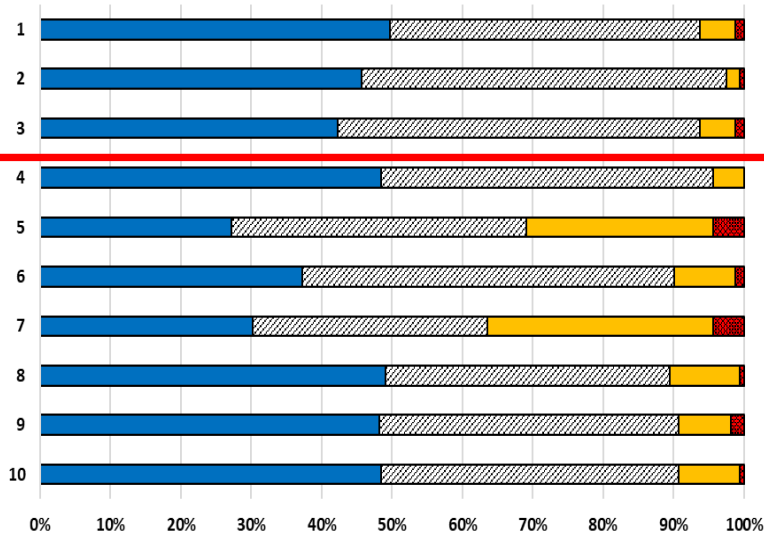
結果をまとめさせていただきました。ぜひ、ご一読いただき、今後の取組にご理解・ご支援いただきますようお願いいたします。今後も、「子どもが明日の登校を待ち望む学校」となるよう さらに取り組んでいきたいと思ひます。

学校や学習のことについての質問



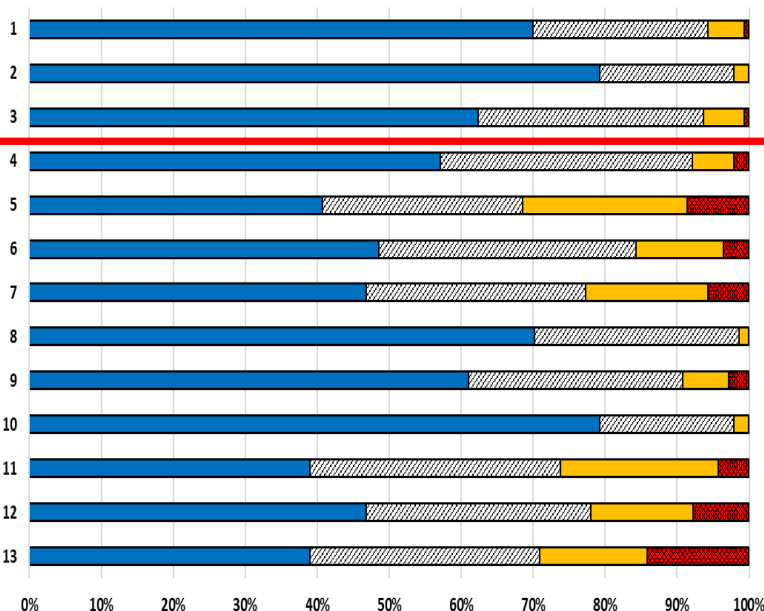
【保護者】

- 1 子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。
- 2 子どもが友だちを大切に、仲良くするように家で働きかけている。
- 3 授業はわかりやすい。
- 4 子どもに人の話をしっかり聞くように働きかけている。
- 5 子どもが授業中進んで発表するように励ましている。
- 6 子どもが忘れ物なく学習準備をする習慣が身につくように働きかけている。
- 7 子どもが本をよく読むように勧めている。
- 8 子どものことを学校や先生に相談しやすい。
- 9 学校は子どもの良いところを見つけている。
- 10 ホームページや学校(学級)だよりで学校の様子がよくわかる。



【児童】

- 1 学校が楽しい。
- 2 友だちを大切にしている。
- 3 授業はよくわかる。
- 4 授業中、人の話を最後までしっかり聞いている。
- 5 授業中、自分から進んで発表している。
- 6 忘れ物をしないように、学習の準備をしている。
- 7 本をたくさん読んでいる。
- 8 学校のルールを守っている。
- 9 自分から進んであいさつをしている。
- 10 係や掃除、給食当番の仕事を最後までしている。
- 11 困ったことがあれば先生に相談できる。
- 12 自分のいいところをほめてもらっている。
- 13 自分のいいところが言える。



○保・児【質問1、3】

児童・保護者共に「学校が楽しい」という回答が95%近くという嬉しい結果になりました。「授業がよく分かる」という質問でも95%近いことから、「わかる」ことの積み重ねが毎日の学校生活が楽しいことにつながっていると考えます。教職員一同、日々の授業の充実をこれまで以上に図っていきたいと思います。

○保・児【質問2】

「友達を大切にする」という質問でも昨年度前期と同様、95%を越えています。学校は、主体性や社会性など多くのことを学ぶことができる場です。学びの過程で、友達との関係が上手いかなかったり、困難な壁にぶつかったりすることもあるかもしれません。しかし、その壁を乗り越えようとする中で、友達や自分の良さに気付くことができるように寄り添った教育を積み重ねていきたいと思います。

◆保・児【質問7】

「読書」の質問については、保護者アンケートでは「できている」が65%程、児童アンケートでは、75%程となっています。大將軍小学校では、図書ボランティアさんによる読み聞かせや週に1回の図書館の時間など、本に親しむ時間が多くあります。児童自身が読みたいと思えるように、授業で取り扱った作家の本を集めたり、家庭学習が終わった後に読書をするようにすすめたりするなど本に触れる機会が増えるよう呼び掛けていきたいと思います。読書（特に活字に触れる）時間と学力とは大きく関係しているという研究の結果もあります。児童が1日の中で読書ができる時間を確保できるようお願いします。

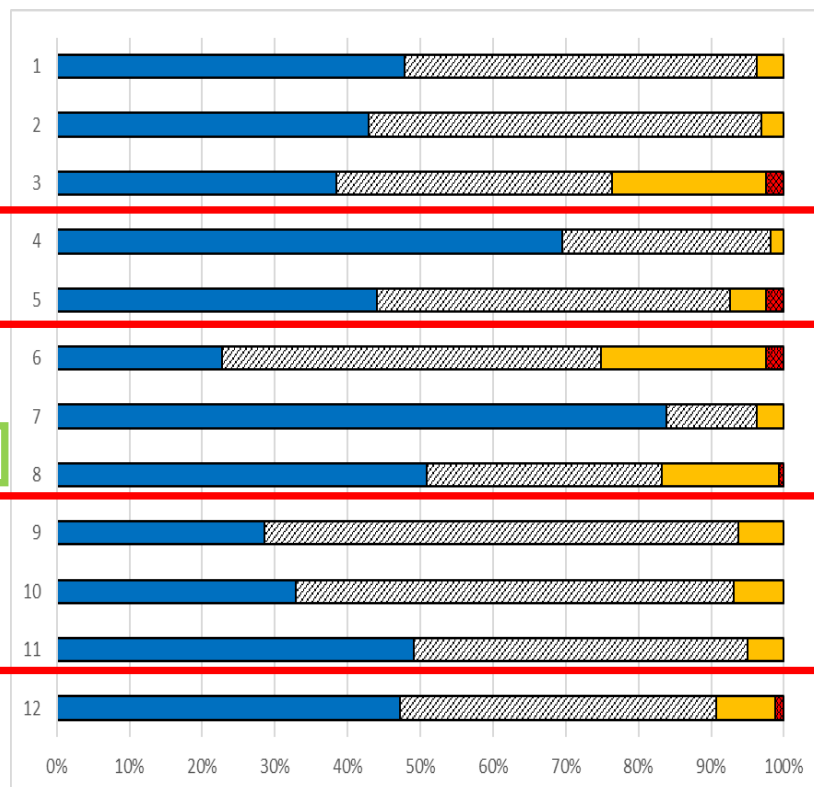
◆児【質問12】

「自分のいいところをほめてもらっている」については昨年度の同時期にくらべ、9%下回っていました。児童が様々な場面で周りの人から褒められることは成就感や自信につながります。この結果を受け止め、まずは大人から児童の「やろうとする姿」を認めていきたいと思います。

家庭のことについての質問

【保護者】

1 学校のことで子どもと話すようにしている。
2 家で子どもと関わる時間をもつようにしている。
3 子どもは学校からのプリントを確実に見せている。
4 すぐで配信されているおたよりを確認している。
5 子どもに宿題等の家庭学習の習慣が身につくよう働きかけている。
6 子どもに掃除や家事の習慣が身につくように家で働きかけている。
7 子どもはきちんと朝食を食べている。
8 子どもに早寝早起きの習慣が身につくように家で働きかけている。
9 子どものお手本となるよう、規範意識（ルール・モラル等）をもって行動している。
10 子どもが規範意識（ルール・モラル等）を高めるように話している。
11 子どもが進んであいさつをするように、家であいさつを大切にしている。
12 子どもの良さを認め、ほめるようにしている。



【児童】

1 家族に学校のことをよく話す。

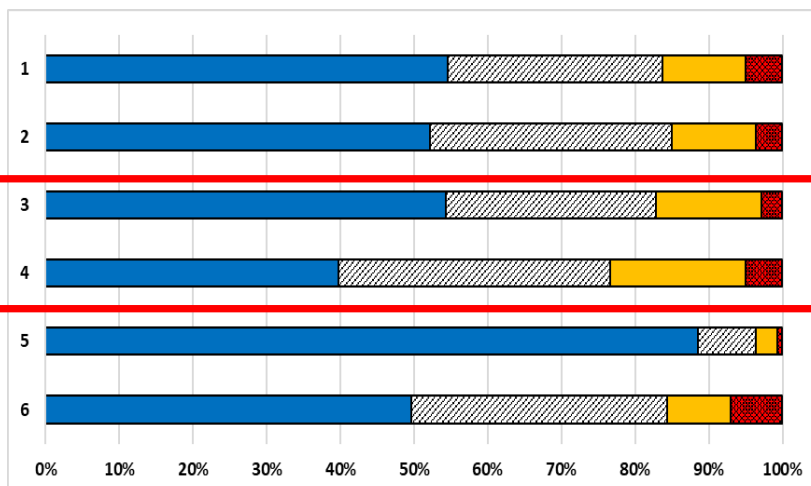
2 学校でもらったプリントを必ずおうちの人に渡している。

3 家庭学習（宿題や自主勉強など）を自分から進んでいる。

4 家のお手伝いをしている。

5 毎日朝ご飯を食べて、登校している。

6 毎日睡眠をしっかりとれている。



○保【質問5】・児【質問3】

保護者の質問では昨年度の前期と比べて3%程上がっているのに対して、児童では8%下がっており、保護者と児童との間に差があります。家庭学習については、学年×15分が目安となっています。学年が上がるにつれて時間も長くなります。その分、自主学習や読書などに取り組む機会としていただきたいと思います。大切なことは、家庭学習を通して机に向かう「習慣」をつけることです。ご家庭でもお声かけよろしくお願いします。また、持ち帰りをしている GIGA 端末も『デジタルドリル』だけでなく、日々の疑問を解決するツールとして活用してください。

○保【質問6】児【質問4】

「家で子どもに掃除や家事の習慣が身につくように働きかけている」「家のお手伝いをしている」という質問では、どちらも 昨年度の前期同様、約75%でした。児童は自分の役割が必要と感じたり、誰かの役に立てていると実感できると、人の役に立ててうれしいと感じたり、誰かのために頑張ろうと思ったりして、自分も人も大切にしていきたいと思います。学校でも家庭でも、自分の役割があり、相手を思いやる行動がとれるように成長していったほしいと思います。

○保【質問9、10、11】

「保護者が児童のよき手本となるようにする（話をする）」については昨年度の前期とほぼ変わらず90%以上と高くなっています。児童が行動の手本とするのは私たち大人です。良き手本を示していくことができるように引き続きよろしくお願いします。また、あいさつについてもご家庭でその大切さをお話していただいていることはとても有難いことです。自分たちを支えてくれている人たちへの感謝の気持ちを伝えるためにもあいさつは大切です。まずは大人が見本を示すだけでなく、学校でも声をかけ続けていきたいと思います。また、あいさつだけに限らず、高学年がよいお手本となり低学年がその姿から学んでいくことは本校の良い文化の1つです。

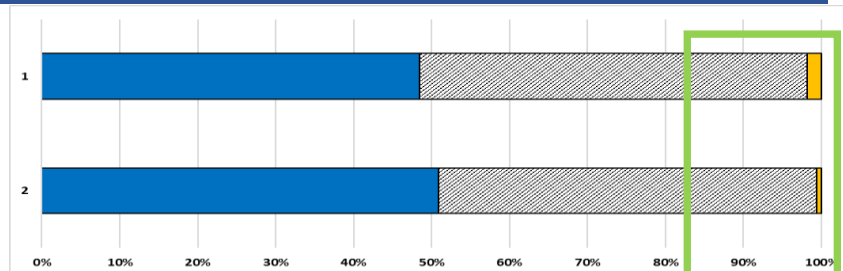
◆保【質問8】・児【質問6】

早寝早起きについては、高学年になるにつれ「できていない」回答が目立つようになっていきます。十分な睡眠時間は児童の成長に欠かせないものです。高学年では、寝るように促すだけでなく、1日をどのように過ごすか計画を立てる中で健康な生活をつくってほしいと考えています。ご家庭でも今後ともご協力いただきたい質問項目です。

地域のことについての質問

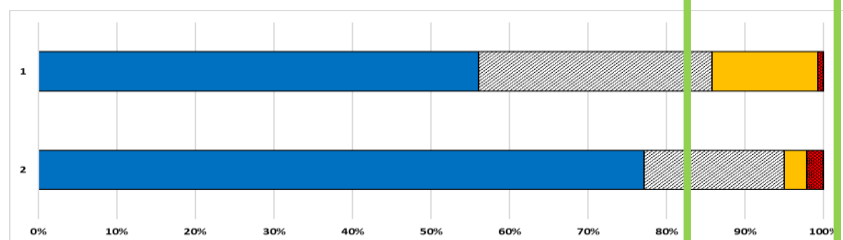
【保護者】

- 1 子どものお手本となるよう、地域の方々にあいさつをするよう心がけている。
- 2 学校教育の中で、地域の方々にお世話になっていることを理解している。



【児童】

- 1 地域の人に積極的にあいさつしている。
- 2 学校で地域の方々にお世話になっていることを理解している。



質問1、2ともに、保護者と児童の間に差がありますが、どちらの質問も「できている」「だいたいできている」合わせて昨年度とほぼ同じか2%程度高くなっています。地域の皆様には、下校時の見守り活動だけでなく、放課後まなび教室や読み聞かせ、総合的な学習の時間でのゲストティーチャーなど児童の学びや安全に関わっていただいています。地域学習については学校運営協議会で計画を行い、実施しています。内容については、学校ホームページの「ぐんぐん夢プラン」の項目に掲載していますのでぜひご覧ください。

カテゴリ

- TOP
- 学校教育目標・経営方針(1)
- 学校評価結果等(0)
- 学校沿革史(0)
- 学校の様子(240)
- お知らせ(1)
- ぐんぐん夢プラン(7)
- 修学旅行(36)
- 山の家(55)



学校運営協議会より

- ・夏休みが終わり、子どもたちが元気よく登下校している姿をよく見かけます。夏休みのラジオ体操に来ている子どもたちを見ていると、とても素直な子どもたちでたくさんの参加があってうれしいなと感じています。
- ・保護者から児童が「学校へ行くのが楽しい」という回答がたくさん返ってきているのは、子どもが家庭でいいコミュニケーションが取れている証拠だと思います。とても素敵なことだと思います。
- ・読書のことについて、子どもは活字離れをしているイメージをもっていましたが、実は全国のデータによると子どもたちの読書量は増えていると出ている。朝読書などの取組をしている成果は出ていると思う。子ども自身の実感としては、読書していないと思っている子どもは多いかもしれないが、実際は読書していると思います。
- ・子どもたちのお手本となる保護者の方々が、いいお手本を見せていけるようになっていくとよいと思います。